

# 安保法制は憲法違反！

平和主義、立憲主義を壊すもの！

全国で反対の声！

各界・各層からも！

「安保法案」今国会での成立に反対、国民の65.6%（9月13日現在）  
 それでも法案採決に向かつて日程を着々と進める安倍政権！「国際情勢は大きく変わった」というのがその理由ですが、平和国家の理念を大きく変え、自衛隊員が海外で武力行使をし、リスクや財政負担が必ず増すことを考えると、本当に最良の道なのか十分な説明を尽くし、国民の納得を得てから決めるべきでしょう。

全国各地で、「戦争につながる法案自体に反対、理解は進んでいない、十分議論せず拙速に決めてしまふべきではない、憲法違反、憲法改正が先」など様々な声が挙がりまし



8月30日 全国一斉行動国会前12万人  
 国会前を埋め尽くす人々（毎日新聞より）  
 大牟田でも29日、連動して集会を開催しました  
 全国100カ所以上で同一行動がありました

## 反対の声を挙げ行動中

- シールズ（大学生グループ）
- ママの会（熊本ではパパも）
- ティーンズ（高校生の会）
- ミドルズ（中年グループ）
- 映画人 九条の会
- 宗教者の会（仏教界、基督教会）
- 学者・研究者の会
- 文化人、芸能人、著名人
- 各大学有志の会（90以上）
- 医療・介護・福祉関係者の会
- 創価大学・創価学会有志の会
- 改憲派や民俗派（右翼）の人達など

護憲派野党議員やその支持団体は勿論ですが、自民党や公明党議員の一部、文化人や芸能人、若者など一般市民からも反対の声が挙がり、大きく広がっています。

## 国会では

「集団的自衛権の限定的容認（存立危機事態）」とは、他国軍への後方支援は武力行使と一体化では、（武器の提供も、自衛隊員のリスクは）、国連ではないPKOにも協力？5原則は「など重要な質問が続いていますが、総理や閣僚からは、未だに曖昧な答弁や国際環境の変化を強調するばかり（個別的自衛権でも可能な事例もある）で質問にきちんと答えないなど、驚く状況が続いています。これでは国民の理解は進むはずはありません。



おおむた市民行動

# あきらめない！ 廃案まで！

～次世代への責任果たそう 黙っているのは賛成と同じ～

武力での抑止論を超え

東アジア平和連帯の道を

安保法案に賛成の方からは、安倍さんの言う積極的平和主義（他国軍への後方支援）が必要だからという賛同よりも、（一番の貿易相手国でもあり仲良くしなければならぬ）中国の脅威論や朝鮮半島の緊張関係を懸念し、備えの強化が必要ではないかという声を多く聞きました。政府は「備えが十分なことが大切」と言いますが、個別的自衛権では、どういった部分が、不備なのか十分な説明をすべきです。

また、平和は武力で守れないことは、アフガニスタンやイラクの混沌をみれば明らかです。平和への道は軍力強化ではない道しかないのではないのでしょうか。今年8月、ソウルで東アジア平和国際会議が開催され、日本の平和憲法を根幹にすえて東アジアの「平和の連帯」を築こうと韓・米・中・日・欧の参加者が話し合いました。（社会新報9・9記事より）

EU主要国 軍縮の進展（陸海空の計）

	1991年	2013年
ドイツ	47万6300	18万6450
フランス	45万3100	22万2200
イギリス	30万100	16万9150
イタリア	36万1400	17万6000
自衛隊	24万7150	24万6400

（数字は人数 月刊社会民主4月号より）

まだ続きます！

安保法案に反対して行動！

大牟田市からも声

## 7月16日緊急市民集会

於：築町公園  
 憲法違反の法案提出、十分な議論がないままの衆院採決に抗議して、九条の会主催、私たち社民民主護憲クラブと共産党議員団が共催して緊急集会を行いました。450名もの皆さんの参加がありました。



会派を代表して挨拶しました

教職員の皆さんも「教え子を再び戦場に送るな」のプラカードと共に



## 8月29日 第2回 おおむた市民集会

於：築町公園  
 30日の国会前10万人、全国一斉100万人行動に連動して行いました。戦争体験者、女子大生や子育て中のママ、宗教者、中学校教員など様々な立場で非戦の思いをリレートークされました。集会後はゆめタウンまでデモ行進！雨の中400人も参加があり元気が出ました。



## 9月13日 安保法案ぶっ飛ばせ

～音楽と映像の集い～  
 街頭アピール行動仲間が、皆で明るく元気がんばろうと企画しました。和太鼓、歌、映像、全員合唱などで楽しい集会になりました。



## 9月16日 第3回 おおむた市民集会

いよいよ国会も大詰め、参議院での強行採決が懸念される直前のおおむた市民集会に約500名、築町公園にあふれんばかりの市民が駆けつけて来られました。若者2人が意見発表。集会後、参加者全員が沿道に並んで安保法案反対をアピール、国道の両側に並ぶ長～い人の列は壮観でした。



## おおむた「市民行動」街頭アピール

10月までは、火・木・土曜 午後5時半～  
 築町公園横で午後5時半から30分間、プラカードを持って立ちました。7月30日から10人ほどでスタートしましたが、輪が広がり参院で採決された9月19日は最高61人の参加者！10月も毎回40人前後の参加が続いています。

11月からは、週2回の予定  
 火曜午後5時半～、土曜午後4時半～  
 一緒に参加してみませんか！





**長崎原水禁大会 8月8日～9日**

原水禁世界大会・長崎大会に参加しました。8日は、第1分科会、脱原子力「再稼働問題と日本のエネルギー政策」に。河合弁護士と共に作られた映画「日本と原発」でも紹介された大飯原発差し止め訴訟の詳細など、原発は法廷闘争で止めるという海渡雄一弁護士の話がとても興味深かったです。9日、銭座小学校に墓参し、9時からの閉会総会では「微力だけど無力ではない」と活動する高校生の決意を聞きました。その後、爆心地公園まで平和行進し、午前11時2分に黙とう。昼食後、平和公園に行ってみました。今年は、戦後70年の節目の年ということもあり、祈念式典は終了していましたが会場は大勢の人で溢れていました。



**小出裕章氏の講演会 9月1日**

文化会館小ホール

原子力の未来に憧れその道に進まれた小出先生は、専門的に学ぶ中で気づいた原発の危険性を一貫して訴え続けてこられた方です。福島事故後、いち早くその深刻さを指摘してこられました。今回も難しい放射能の話などを、わかりやすく話していただきました。



東北や関東の一部などは放射線管理区域にしなければならないほどの汚染、そこに住む子ども達を被爆させ続けている日本は法治国家といえるのか？それを許している大人の責任は大きい、子どもを守るために力を尽くそうと訴えられました。「危険性が分かりながら何もしないで事故を起こした東電幹部や推進してきた政治家は刑務所に」や、大飯原発差し止め訴訟の福井地裁樋口裁判長の歴史に残る判決文「貿易赤字が出るとしても、これを国富の流出や喪失というべきではなく、豊かな国土と、そこに国民が根を下ろして生活していることが国富であり、これを取り戻すことができなくなることが、国富の喪失である」が紹介されたときなど、会場から大きな拍手がおこりました。

**憲法学習会 7月28日**

安保法制の背景について、津留雅昭弁護士（福岡平和フォーラム代表）にお話を聞きました。安保法案の狙い～日本はどこに向かっているのか安倍政権が拙速に成立させようとしている背景は自民党憲法草案では、憲法九条を変え、自衛隊を国防軍として海外派兵できる国が目指されているが、すでに憲法草案に沿って着々と九条は壊されている、残りは集団的自衛権と軍事法制だけ、世界の流れの反し日本は防衛費を増やし、驚くほど進んでいる陸海空自衛隊の装備、紛争やテロ、安全保障環境の変化などを挙げて危機感が過大にあおられているが、日本と戦争を始めるような愚かな為政者はいない（戦争のメリットがない）といった認識を新にする話を聞きました。最後に、迫り来る九条改憲への策動に備えようと結ばれました。



**美ら海の与論島へ 8月1日～3日**

世界遺産登録で注目される三池炭鉱の歴史、その一翼を担ってこられたのが与論島の先人の方々です。大牟田と与論の教育文化交流が深まることを願って、大牟田荒尾与論会主催「大牟田・与論島文化教育交流訪問団」に今年も参加しました。

今年は2組4名の子どもさんが参加されました。海上に表れた美しい百合が浜では初めてバナナボートを体験し、レンタカーで島内一週もして美しい島の景色を堪能しました。

毎回、お出迎え、歓迎会、そして帰りには見送りまでしていただく、町長さんや教育長さん、与論町の皆さんとはすっかり顔見知りになりました。今年もしっかり癒され、元気をいっぱい充電して、別れを惜しみながら帰路につきました。



大牟田市議会議員 平山光子活動報告  
**つなぎあつて元気に**

54  
2015 秋号

**実りの秋に**

猛暑の夏からあつという間に季節は移ろい、秋の深まりを感じる今日この頃です。それにしても、集中豪雨や巨大台風の接近などで、これまでに経験のない自然災害が各地で続いています。被災された地域の皆様には心からお見舞いを申し上げます。

地震や火山の爆発なども頻発しており、改めて自然の猛威を思い知らされる近年です。備えあれば憂い無しとも言われますが、大自らの前には人は非力であることを思い知り、敬虔さを忘れないことも必要ではないでしょうか。豊かさや便利さを追い続け、地球が温暖化してしまつたのも、原発事故を起こし、深刻な放射能汚染を広げてしまったのも今生きる大人の責任です。私たちは、次世代にどんな未来を手渡そうとするのか、しっかりと考え行動する責任があるように思えます。



**安保法成立！**

大きく広がった反対の世論は無視！  
 2015年9月19日午前2時18分、法案審議は全く深まらないまま、委員長報告もすつ飛ばし、いきなり怒号と大混乱の中で、自公政権が数の力で強硬に戦争法案を可決・成立！（とされていますが議事録には聴取不能、しかも、後日それを書き換え）

中継されている参院本会議の様子、そしてその後の安倍総理のコメントに憤慨した国民の方が多かったはず。しかし、採決をしてみればそのうち国民は忘れるとばかり、新三本の矢、内閣改造、一億総活躍などという言葉まで飛び出し、目眩ましに必死！国民を馬鹿にしていると思いませんか。

**粘り強く行動しよう！**

10月19日には、総がかり行動、国会前大集会がよびかけられています。その他、2000万人署名、参院選勝利に向けた行動、平和・安全保障の学習を深め仲間を広げるなど、**民主政治を取りもどすための闘いを地方でも進めていきましょう！**  
**最大の悲劇は、悪しき人の暴言や暴力ではなく善意の人の沈黙と無関心(キング牧師)**

**平山光子後援会**  
 事務所 大牟田市原山町1-5 0944-53-1661  
 自宅 大牟田市倉永165-1 0944-58-1252  
 携帯 090-9077-0226  
 メールアドレス mitsuko2007@tngbbiqjp  
 ホームページ www.mitsuko-hirayamanet  
 フェイスブック www.facebook.com/mitsukohiyama7



困りごと・わからないこと 市政相談お待ちしております

**九月議会終わる**

9月4日から開会し、決算特別委員会をささんで、30日まで行われました。

- 主な議案**
- ・補正予算（主なもの）
    - 炭坑電車三川坑への移設費 3700万円
    - 世界遺産看板・パンフレット 600万円
    - 世界遺産関連施設等保存活用費 900万円
    - 観光振興費 3000万円
    - 動物園管理費 1265万円
  - ・主な条例
    - 協働のまちづくり推進条例
  - ・提出した意見書
    - ・地方財源の充実・強化を求める意見書
    - ・教職員の定数改善と教育予算の拡充を求める意見書
    - ・自民は反対するも、賛成多数可決
    - ・安全保障関連法案の廃案を求める意見書
    - ・原発再稼働の中止を求める意見書
    - ・労働基準法改正案の撤回を意見書は自公と無所属保守系の反対で否決
  - ・**予算特別委員会 平山光子の意見要望**
    - ・仕事と家庭が両立できる生活環境作りのしつかりとした評価と、事業の更なる充実
    - ・子宮頸ガンワクチン被害の状況把握と啓発
    - ・人農地プラン新規就農者への指導支援の充実
    - ・中小企業新規創業促進の状況、支援の充実
    - ・不登校児童生徒への更なる支援の充実